

令和4年度 エリアマネジメント 実務勉強会

プログラム (予定)

(1) 講演会 約60分

- 趣旨説明
宋 俊煥 氏 (山口大学大学院 創成科学研究科 建築学コース 准教授)
- 国土交通省からの情報提供
山田 大輔 氏 (国土交通省 都市局 まちづくり推進課 官民連携推進室長 兼 国際競争力強化推進官)
- エリアマネジメントリレー報告 ※3地区の先進事例による

都心	(一社) 新宿副都心エリア環境改善委員会 (新宿区)	小林 洋平 氏 (大成建設(株) 都市開発本部 まちづくり推進室長)
中心市街地	むつまちづくり(株) (青森県むつ市)	西沢 正道 氏
住宅地	(一社) 金沢シーサイドあしたタウン (横浜市金沢区)	中西 正彦 氏 (横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 教授)
- 日本都市計画学会エリアマネジメント人材育成研究会からの課題提示
・行政の立場から
井上 和昭 氏 (名古屋市 住宅都市局 都市計画部 ウォークラブル・景観推進室 ウォークラブル推進係長)
・コンサルタントの立場から
堀江 佑典 氏 (昭和(株) 企画部 営業開発室 室長)

(2) パネルディスカッション 約80分

- コーディネーター : 宋 俊煥 氏 (山口大学大学院)
パネリスト : 国土交通省、先進事例(上記3つ)、名古屋市、昭和(株)

2023年

3月28日 (火)

14:00 ~ 16:30

【オンライン配信方式】

主催

- 一般財団法人都市みらい推進機構
- 日本都市計画学会エリアマネジメント人材育成研究会 (研究交流分科会A)

エリアマネジメントの実務で必要となる検討や調整は、立地(都市規模、都市基盤・都市施設、交通、地勢等)、担い手(事業者、住民、活動主体、教育機関、行政等)、土地利用規制(用途構成、利便施設・事業所の分布等)などの条件によって大きく異なると言われています。また、我が国のエリアマネジメントは、「活用する空間、施設の種類・権原、機能担保の手法・組合せ」や「官民の役割分担、体制・連携・支援の内容」の幅が広がり、ハード・ソフトの両面で、急速な多様化・ボーダレス化が進展しています。

今回で第7回目となる「エリアマネジメント実務勉強会」は、上述のように極めて多様なエリアマネジメントの形があることを踏まえ、勉強会の切り口として、「都心」「中心市街地」「住宅地」という3つの市街地類型を設定し、各々で先進的に取り組む事例をお招きして、「持続可能なエリアマネジメントを支える「ストック活用」」について考えます。3つの事例において、いつ、誰が、どのように、どこに、何を目指し、ストック(ハード・ソフト)を活用しているのか、また、そのようなストックの活用は、まちづくりの時間軸のなかでどのような位置づけになるのか、などを考えます。

まちづくりの実務者の皆様が、宋先生(山口大学大学院)、国土交通省、行政、コンサルタントとともに、楽しく考え、工夫や課題などを共有できる「学び」の場を提供・発信することを目指します。エリアマネジメントに関する基礎的な知見を高める格好の内容ですので、奮ってご参加ください。

テーマ

持続可能なエリアマネジメントを支える「ストック活用」

- どのような「ストック活用」がどのような仕組み(ビジネスモデル)を生み出すのか
- エリアマネジメント組織でないとできないストックの活用とはどのようなものか

■ 申込方法

『参加申込書』を当機構ホームページからダウンロード(URL/QRコード)し、必要事項をご記入のうえ、メールかFAXでお申し込みください。

どなたでもお申し込み頂けます(参加費は無料)。

http://www.toshimirai.jp/area_management/index.html



■ 申込期間

2023年3月6日(月) ~ 3月20日(月) 17:00 必着

財団 web サイトに勉強会の動画をアップし、申込者の方に「ID、パスワード」を付与して随時ご視聴ができるようにしますので、当日のリアルタイムでご参加できない方も積極的にお申し込みください。

■ お問い合わせ先

一般財団法人都市みらい推進機構 担当: 有安、秋田
Tel: 03-5261-5625 FAX: 03-5261-5629
Mail: areamanagement@toshimirai.jp

IFUD
Institute for Future Urban Development

